

# 彦根景観フォーラム この一年と新年度に向けて

事務局長 岡野 睦

彦根景観フォーラムは、前年に引き続き”世界の城下町彦根”を目指して”を合い言葉に、彦根シンポジウム・プレイ遊博では、彦根城下の歴史的背景を探ると共に、世界遺産登録の道への課題などについて学び、新たな意欲を喚起しました。

また、彦根城築城400年祭協賛の新しい取り組み、寺子屋力石《談話室》「それぞれの彦根物語」では、計32回・延900名にも及ぶ人達の”新しい彦根の発見の場・彦根をつむぐ場”となり、すばらしい企画であったと考えています。

この他、星空映画祭・防災耐震まちづくり事業・学習型観光システム「まちナビ事業」への参画、数々の町家や長曾根御門の実測調査、そして、好評発売中の「彦根歴史散歩」の刊行など、本当に数多くの事業を展開してきました。

さて、新年度の彦根景観フォーラムは、「それぞれの彦根物語」を発展させ、築城400年祭に合わせた町歩き「彦根遊び博」を中心に、前年度の事業を継承し、より発展させた取り組みを計画しています。是非、皆様の参加をお待ちしています。

私の好きな  
まちなかスポット

## 銀座商店街・まちなかギャラリーのオープン

セピア色に色褪せた一枚の古い店舗の写真が出てきた。屋根の上に「百々洋服店」という大きな看板が掲げられているが、前に立っている人物は皮肉にもみんな着物姿である。左右に軒を連ねる店舗も明治末期のものらしく、どっしりと風格があるが、今はこの店舗一軒を残して変貌してしまっている。

古いもの、価値あるものがどんどん壊され、無くなっていく彦根の町で、それが一年でも永く残したい貴重な遺産であると気づいたとき、「彦根景観フォーラム」との出会いがあり、彦根城築城400年祭の年であったことは誠に幸せなことであった。

彦根銀座の人達や友人の協力を得て、その古い洋服屋さんでボランティアとして、まちなかギャラリーを開くことになるまでには、ほんのわずかな時間を要し



ただけであった。

(彦根景観フォーラム会員 角 省三)

銀座商店街・まちなかギャラリー 開館日時

3月25日(日)～

11月25日(日)

毎週土日祭日開館

10時～16時

入場無料



## 話し合う夢から始まる・まちづくり NPO・彦根景観フォーラム入会のご案内

教員や学生、建築家、主婦、会社員、市民、商店主、公務員など、いろいろな人と知恵が集まります。

● 定例ワークショップ 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館にて 年会費6,000円

● 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

ブログ:<http://hikonekeik.exblog.jp>

e-mail: [hikonekeikan@hotmail.com](mailto:hikonekeikan@hotmail.com)



# きらっと彦根 vol.8

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり情報誌 2007年4月10日 通巻8号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

## 彦根あそび博 スタート 400年のまち・魅力いっぱい

彦根の新しい遊び方『まち歩き』・・・現地を歩いて、スローな遊びを楽しみましょう。

「彦根あそび博」とは、昨年NPO彦根景観フォーラムが主催した市民談話室「それぞれの彦根物語」で話題となった市民だけが知っている彦根を紡いで、みんなで楽しむ「遊び博覧会」に進化させたものです。彦根の新しい遊び方を一緒に体験しましょう。

回	春の彦根遊び博 テーマ	日時・集合場所
1	芹川堤の自然と歴史で遊ぼう	4月21日(土) 13時 寺子屋カ石
	雨壺山の自然と歴史で遊ぼう	
2	脇街道・七曲がりで遊ぼう	4月28日(土) 13時 寺子屋カ石/高宮 地域文化センター
	高宮宿で遊ぼう	
3	講演会:「世界遺産を実現するために」	6月9日(土) 講演10時～、 街歩き13時～ 夏川記念館
	善利組組屋敷界隈で遊ぼう	
	内曲輪・城郭で遊ぼう	
4	天寧寺で遊ぼう	6月23日(土) 13時 アルプラザ6階サ テライト
	佐和山周辺で遊ぼう	

※各彦根遊び博とも参加料無料、入場料・交通費等は実費とします

※8月には滋賀大学キャンパスツーリズム、9月からは秋の彦根遊び博シリーズを予定しています。

■申込み・お問合せはNPO彦根景観フォーラムへ

彦根景観フォーラム 編

## 「彦根歴史散歩 過去から未来 をつむぐ」 好評発売中

定価 1,890円(本体1800円) A5判 128ページ



おすすめの言葉:

そこに住んでいた  
り勤めているもの  
にとって、その場所  
の遠い過去からの歴史  
が示されたり、そこ  
がより広くとりあげ  
られたり、そこにあ  
るあれこれがより深  
く説明されたりする  
ことは楽しい。

この『彦根歴史物語』には豪腕辣腕によって、わたしたちの彦根がぎゅっと詰まっている。

(阿部安成・滋賀大学教員)

## 寺子屋カ石で木造耐震補強

彦根の特徴ともいえる江戸時代からの木造伝統構法。その耐震補強は難しいとあきらめてはいませんか? 「木造伝統構法彦根研究会」では、金沢工業大学名誉教授の鈴木有先生を座長に、ひこね駅の駅「寺子屋カ石」で耐震補強方法を検討してきました。西澤工務店の西澤さん、梓工務店の伊藤さんなど伝統構法のベテランや、滋賀県建築士会彦根支部、県庁の建築課の方も加わって検討し、4月からは「城下町彦根をデザインする」の事業費で、「市民の市民による市民のための耐震補強例」の実作を作って行きます。

関心をお持ちの皆様は、ぜひご参加ください。

特集:世界遺産をめざして  
**危機に立つ**  
**まちなか遺産を未来に**

連載 創造的修景を考える(8)  
彦根の目指したい「まち像」  
一発展・活性化とは一  
建築家 戸所 岩雄

●彦根景観フォーラム  
この一年と新年度にむけて  
●私の好きなまちかどスポット  
銀座商店街・まちなかギャラリー